

文部科学省
選定
社団法人日本PTA全国協議会
推薦

【後援】法務省人権擁護局
全国人権擁護委員連合会
財団法人人権擁護協力会

いじめを乗り越え、たくましく成長する子どもたちを描いた感動の物語。
アニメーション映画「ハードル」待望のビデオ化。

長編アニメーション映画

ハードル

DVD発売!!

本作品は、青木和雄氏原作ベストセラー「ハッピーバースデー」に続く、子どもたちの心の声を描いた物語「ハードル」のアニメ映画化です。



監督/出崎 哲 原作/青木和雄 吉富多美 (ハードル 真実と勇気の間で/金の星社・刊)



青木和雄

人知れず悩みを抱える子どもたち、その「心の叫び」を見逃している大人たちへ。私たちはメッセージを送り続けます。

だれか、死ぬ方法を教えてー。
いじめにあってつらい日々を送っていたあなたの悲痛な叫びが、耳に残っています。その叫びを真摯に受け止めて、本を書きました。思いつくかぎりの希望と、悲しみを乗り越えるいくつもの勇気を。あなたにー。今日を大切に生きてほしいと願いながら…。

そんな思いを胸に書き綴った「ハードル」を、是非、DVDで、多くの皆さまにご覧いただければ幸いです。

主題歌/「なにもない」



歌/ゆず (北川悠仁/岩沢厚治) セーニャ・アンド・カンパニー

「なにもない」をテーマソングに選んでいただき本当にうれしく思っています。この曲は僕たちが横浜伊勢佐木町で路上ライブをやっていた頃の曲で、まだそんなに曲がない中で、心を込めて何度も唄ったという思い出があります。

視聴覚教材用 DVD

52,500 円(税込)

教材上映用DVDは、学校・図書館・公民館・視聴覚センター・公共施設等での、上映・貸出・回覧に限定し、視聴が承諾されております。一般家庭における私的視聴を目的とされる場合は、個人視聴用DVDをお求めください。

お申し込み (お電話またはFAXでお求めください)

株式会社 シネマとうほく

TEL.022-225-0986 FAX.022-268-5264

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-4-8

ご注文は下記までご連絡下さい

財団法人 人権教育啓発推進センター 販売担当
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 秀和第三芝パークビル4階
TEL 03-5777-1916 (直通) / FAX 03-5777-1803
E-MAIL sales@jinken.or.jp

商品の詳しい内容や最新情報はホームページでご案内しております。

<http://www.jinken.or.jp/hanpu/>

人権センター 販売

検索

検索キーワードで素早くアクセスできます。

自分を信じ、心のハードルを 飛びこえる勇気を!

未来を担う子どもたちへ。そして子どもを支える大人達への熱いメッセージ。



有沢麗音



有沢佑樹



仁科光



小田良平



大崎賢之介



大崎達之進



かいせつ

未来を担う子どもたちの健やかな心の成長は、社会の大きな願いです。昨今、子どもたちの間には不登校、少年犯罪、いじめなどの問題が急増していますが、それは実は社会がつくりだしたもののなかもかもしれません。21世紀を生きる子どもたちが、自分と人とを大切に、正義と勇気をもって生

きていける社会にするために、私たち大人が子どもの命と心を守っていかねばなりません。

本作品は、ベストセラーとなり、アニメ映画としても大ヒットした青木和雄氏原作「ハッピーバースデー」に続く、子どもたちの心の



声を描いた物語「ハードル」のアニメ映画化です。

映画化には、物語の舞台となる宮城県古川市(現:大崎市)と神奈川県横浜市の市民グループが、1枚1000円のひとコマ製作券を販売し、90分12万コマになるフィルムの製作を応援する運動を展開しました。主題歌を人気のフォークデュオ「ゆず」が担当。制作は高いアニメ制作技術を持つマジックバスと、「蒼い記憶」、「アテルイ」、「ハッピーバースデー」などを監督し、高い評価を得ている出崎哲監督です。

ものがたり

横浜に暮らす有沢麗音(レオン)は、小学6年生のある日クラスメートの万引きを目撃してしまいます。中学受験を控え、心にストレスを抱えている時でした。しかしある理由から麗音は犯人と誤解されます。大人たちの態度に麗音は深く傷つきますが、友人と文房具店のおばあさんの言葉に救われ、心の輝きを取り戻します。

やがて中学生になった麗音は、父の失職と両親の別れによって、東北の古川市(現:大崎市)にある母の実家に家族三人で暮らしはじめます。自然に囲まれ、心も、友達との輪も大きく広がっていきます。ところが、バスケ部への入部を断ったことでいじめの標的とされ、どうとう生死の境をさまよう事件が起こります。波風が立つのをおそれて真実を隠そうとする大人たちに対して、子どもたちは立ち上

がります。正義を守るために、勇気を奮い起こして…。



アニメーション映画「ハードル」をご覧いただいた、みなさまから、沢山のお便りをいただいています。

とてもかんとどうして、もうどうしていわからなくなった。でも、みんな力をあわせてよかった。いじめは、よくないことだとおもった。【小学2年生】

すごく感動しました。泣いてしまいました。イジメで、どれだけ心が傷つくか、心だけじゃなく命まで傷ついてしまうということを改めて考えさせられました。【中学3年生】

大変、心を打たれました。友情の大切さ、正義をつらぬく勇気の大切さを教えられました。子どもたちの問題は、むしろ大人の社会の病の反映なのかも知れません。【42才】

とにかく泣いてしまいました。あまりにも、それぞれの立場にある大人(教師を含む)の気持ちが分かりすぎたからかも知れません。子どもの正直さ、純粋さ、勇気ある行動を今を生きる子どもたちの心に育てたいと痛切に思いました。【教師51才】



こころのハードルをきりひらこう。